

新居浜市スポーツ推進計画(中間評価・見直し)

(趣旨)

新居浜市スポーツ推進計画は、2014年3月に策定され、2021年度までの8年間を計画期間として設定しています。策定から4年が経過し、前期4年間を検証するとともに、社会情勢やスポーツを取り巻く環境の変化、市民ニーズ等を踏まえ、本市の実情及び時勢に適合した計画へ見直しを行います。

(基本方針)

現行計画の基本理念に基づき設定した5つの基本目標を達成するために、引き続き、各施策を推進していくことを基本としつつ、市民アンケートにてスポーツ活動の現状や市民ニーズを把握して、計画に反映させるとともに、施策の進捗状況等を踏まえて、記述や目標数値の見直しを行います。

前期4年を振り返って

◎平成26年度以降のスポーツ振興に関する重要な実施施策

- ▼総合運動公園構想の策定(平成28年度)
- ▼えひめ国体の開催(平成29年度)
- ▼あかがねマラソン(平成29年度)※市民マラソンから名称変更→継続実施
- ▼市制施行80周年記念事業ドリームベースボール(平成29年度)
- ▼文化スポーツ大会開催奨励金事業実施(平成29年度→継続実施)
- ▼重量拳練習場整備(平成30年度→2019年6月供用開始)
- ▼市民体育館へ空調設備整備(平成30年度→2019年整備予定)
- ▼東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン登録(平成30年度)
- ▼愛・野球博事業(平成30年度→愛媛県事業として実施 新居浜市でも2事業実施)
- ▼高校スポーツ強化運動部指定校事業の充実(写真)
- ▼運動部活動競技力向上事業の充実 上:あかがねマラソン
- ▼全国大会出場奨励金制度の充実 など 下:えひめ国体(セーリング)



平成26年3月に新居浜市スポーツ推進計画を策定して以降、上記に代表されるようなスポーツ振興施策を実施しました。「えひめ国体」は、本市でもウエイトリフティング、セーリング、軟式野球、少年サッカーの4種目が実施され、地元選手活躍に大きな盛り上がりを見せました。平成29年度にリニューアルして開催した市民マラソン大会「あかがねマラソン」は、距離延長や、起伏の激しいコースが魅力となり、エントリー数は毎回1,600人を超えています。

市制施行80周年記念事業として実施しました「ドリームベースボール」は往年の元プロ野球選手の姿を一目見ようと、5,000人を超える人が集まりました。

さらに、高校スポーツ強化運動部指定校事業では、市が指定する全ての部活動がこの4年間に全国大会出場を果たすなど、素晴らしい成果を挙げています。

施設面では、総合運動公園構想が策定された他、重量拳練習場整備、市民体育館空調設備の整備等に取り組んでいます。

アンケート調査

中間評価・見直しに際して、市民のスポーツ活動の現状やニーズを把握するため、アンケート調査を実施しました。

また、平成29年に実施しました市政モニターアンケートの際にも、今回と同様の質問をしておりますので、こちらの結果についても、掲載しています。

(成人)		調査数	回答数	回答率
20歳～29歳	男性	50	31	62.0%
	女性	50	30	60.0%
30歳～39歳	男性	60	39	65.0%
	女性	60	43	71.7%
40歳～49歳	男性	75	48	64.0%
	女性	75	64	85.3%
50歳～59歳	男性	65	48	73.8%
	女性	65	56	86.2%
60歳～69歳	男性	80	26	32.5%
	女性	80	22	27.5%
70歳以上	男性	125	15	12.0%
	女性	125	7	5.6%
合計		910	429	47.1%

(児童・生徒)		調査数	回答数	回答率
小4～小6	男子	15	11	73.3%
	女子	15	14	93.3%
中1～中3	男子	15	5	33.3%
	女子	15	11	73.3%
高1～高3	男子	15	11	73.3%
	女子	15	12	80.0%
合計		90	64	71.1%
総合計		1,000	493	49.3%

(市政モニター)		調査数	回答数	回答率
20歳～80歳以上	男女	179	156	87.2%

アンケート結果

問5: スポーツや運動が好きですか(未回答除く)	成人		児童・生徒		市政モニター
	前回	今回	前回	今回	
①するのも見るのも好き	44.7%	57.0%	59.8%	53.1%	44.5%
②する方が好き	15.6%	15.6%	22.0%	29.7%	16.1%
③見る方が好き	32.5%	24.1%	14.2%	14.1%	33.6%
④するのも見るのも嫌い	7.2%	3.3%	4.0%	3.1%	5.8%

問7: この1年間に運動やスポーツをどの程度行いましたか(未回答除く)	成人		児童・生徒		市政モニター
	前回	今回	前回	今回	
①週に3日以上	23.2%	16.9%	66.2%	60.9%	15.4%
②週に1～2日程度	22.2%	30.2%	16.5%	25.0%	25.6%
③月に1～2日程度	10.6%	18.7%	6.0%	4.7%	17.9%
④年に数日程度	17.4%	22.7%	6.9%	3.1%	-
⑤全くしなかった	26.6%	11.5%	4.4%	6.3%	41.0%

問8: 運動やスポーツを行おうとするときに支障になることは何ですか(上位抜粋: 成人のみ)	成人		市政モニター
	前回	今回	
①仕事が忙しい	15.2%	22.7%	28.6%
②費用がかかる	11.1%	11.2%	7.6%
③体力に自信がない	10.5%	8.5%	16.2%
④きっかけがない	10.4%	10.0%	-
⑤家事・育児が忙しい	8.5%	12.4%	28.6%
⑥仲間が少ない	8.2%	5.9%	10.5%
⑦スポーツ施設が少ない	6.6%	8.1%	4.8%

問5「スポーツや運動が好きですか」については、成人では「するのも見るのも好き」という人が増え、児童・生徒では「する方が好き」という人が増えています。成人の「見る方が好き」という人が減っていることから、運動やスポーツを「する」人の割合が増えていることが言えます。また、少しですが、「するのも見るのも嫌い」という人が減っているということは、スポーツへの関心が高まってきていると思われます。

問7「この1年間に運動やスポーツをどの程度行いましたか」については、「週に1～2日程度」が増加していますが、逆に「週3日以上」が減少しています。男女別に見ると、「週に3日以上」、「週に1～2日程度」運動やスポーツを行った人は、男性が50.4%→44.7%と減少していますが、女性は41.6%→49.3%と増加しています。

問8「運動やスポーツを行おうとするときに支障になることは何ですか(成人のみ)」では、「仕事が忙しい」、「家事・育児が忙しい」、「スポーツ施設が少ない」といった理由を挙げる人が増えています。

目標数値の達成状況と見直し

目標数値の達成度と見直し	H26年実績	H30調査値	増減	H26年目標値	中間見直しによる目標数値
週1回以上の市民(成人)の運動実施率	45.4%	47.1%	1.7%	67.0%	65%程度
女性(成人)の週1回以上の運動実施率	41.6%	49.3%	7.7%	50.0%	65%程度
週1回以上の子どもの運動実施率	82.7%	85.9%	3.2%	95.0%	90.0%
総合型地域スポーツクラブの設立	2クラブ	2クラブ	増減なし	10クラブ	3クラブ
スポーツ指導者数の目標値	-	218人	-	275人	263人

●【目標数値の達成状況】

今回の中間調査では、上記5つの目標全てにおいて最終目標値には到達していません。しかし、「週1回以上の市民(成人)の運動実施率」は45.4%→47.1%、「女性の週1回以上の市民(成人)の運動実施率」は41.6%→49.3%、「週1回以上の子どもの運動実施率」は82.7%→85.9%と増加しています。これは、「えひめ国体」が開催されたことや、距離、コースが一変された「あかがねマラソン」をはじめとするスポーツイベントの効果が少しずつ表れているものと思われるため、今後も各種事業の内容等を更に充実させていくことにより、運動実施率の増加を目指します。

●【目標数値の見直し】

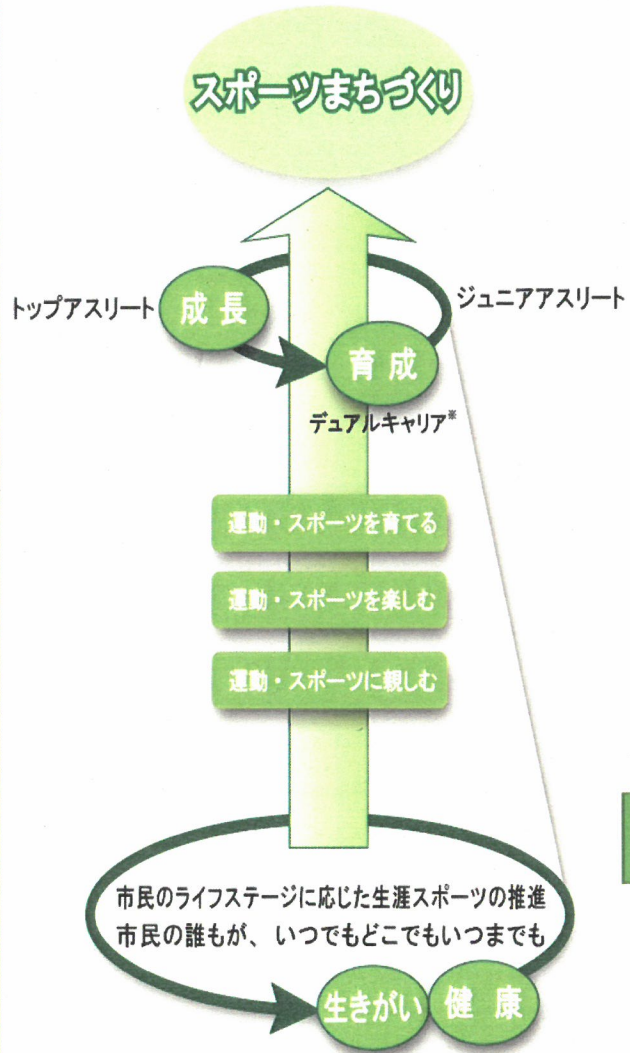
今回のアンケート調査の結果をふまえて目標数値の見直しを行い、「週1回以上の市民(成人)の運動実施率」、「女性(成人)の週1回以上の運動実施率」を65%程度、「週1回以上の子どもの運動実施率」を90%に設定しました。これは、国の「スポーツ実施率向上のための行動計画(平成30年9月6日策定)」において、2021年度末までに「成人の週1回以上の運動実施率」の目標値を65%程度としていることから、「女性(成人)の週1回以上の運動実施率」も含め、上位計画と同じ数値を目指すものです。「週1回以上の子どもの運動実施率」については、「愛媛県スポーツ推進計画」において設定されている数値と同じ数値を目指すものです。これらは、市民体育館に空調設備が整備されることや、多喜浜体育館でフットサルの利用が可能となったこと等、施設面が整備されることや、地域スポーツ育成事業の継続により、住民が気軽にスポーツに参加できる場を提供することで、増加が見込めるのではないかと考えています。

「総合型スポーツクラブの設立」については、クラブの立ち上げには、施設や運営費、スタッフの確保などの要件を満たさなければならぬことや、各地域において様々な事情があるため、これまでの4年間にしても、新規クラブの設立がありません。今後も地域主導による設立は困難であると考えられるため、行政側も支援しながら現状のクラブ数を維持しつつ、新たなクラブの設立を目指します。

「スポーツ指導者数の目標値」については、本市では、現在218名のスポーツ指導者が公認指導者として登録されています。今後は、指導者の維持・確保を図りつつ、指導者講習会等を継続して実施していくことで、目標達成を目指します。

基本理念

市民のライフステージに応じて
親しむ・楽しむ・育てる
スポーツまちづくり



市民のライフステージに応じた生涯スポーツの推進
市民の誰もが、いつでもどこでもいつまでも

【説明】

市民の誰もが健康で豊かな暮らしを実現し、子どもから高齢者まで、また、ピギナーからトップアスリートまでが運動・スポーツを身近に感じ、親しむことのできる環境づくりを目指します。

スポーツを通じた地域コミュニティ形成により市民が連携し、新居浜が元気になるスポーツ推進計画の基本理念を定め、スポーツによるまちづくりを推進します。

※デュアルキャリア

トップアスリートとしてのアスリートライフ（パフォーマンスやトレーニング）に必要な環境を確保しながら、現役引退後のキャリアに必要な教育や職業訓練を受け、将来に備えること。

基本目標

1. 生涯スポーツの推進

- ①市民の誰もが年齢・性別、障がいの有無を問わず、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくり。
- ②市民の誰もがスポーツに親しみ・楽しみ、健康で体力を維持し豊かな暮らしと健やかな心身を育むスポーツまちづくりの推進。
- ③市民の年齢、生活環境等ライフステージに応じた、また、興味関心への多様なニーズに応じたスポーツまちづくりの推進。

2. 身近な運動・スポーツ機会の創出

- ①市民の誰もが運動・スポーツに親しむ機会の創出により、スポーツを身近に感じることができる環境づくり。
- ②子どもが身近に運動する場として、幼児期の遊び場、公園等の場所の確保、また、運動嫌いな子どもへのきっかけづくりを推進。
- ③市民の誰もが身近に運動・スポーツに親しみ、地域交流を深めていくスポーツまちづくりの推進。

3. トップアスリート育成と各種全国大会に向けての競技力向上

- ①子どもたちへの多様なスポーツ経験が体感できるような環境づくり、指導者等のひとづくりの推進。
- ②子どもたちのスポーツ技術の向上、将来を担うトップアスリートを輩出する基盤づくりの推進。
- ③えひめ国体を契機に、市民がレベルの高いスポーツに直接触れる機会を創出し、関心を深めることで競技人口の拡大と競技力の向上を推進。

4. 運動・スポーツを支えるまちづくり

- ①総合型地域スポーツクラブの創出、維持運営には、市民・事業者・団体の支える力が必要です。スポーツを通じた地域連携を育む社会形成の推進。
- ②地域での運動・スポーツに関わるボランティアの育成、市民が主体となって取り組む協働のスポーツまちづくりの推進。

5. 施設環境の整備と既存施設の活用

- ①市民が身近に運動・スポーツに親しみ・楽しむスポーツレクリエーション施設を有効活用するため、市民の要望等をくみ取り、機能改善、情報のさらなる発信・提供、既存施設の保全を推進。
- ②大規模競技大会の開催やプロスポーツの開催等レベルの高いスポーツ観戦機会の提供及び参加ができる施設の整備を推進。
- ③国体レガシーを活用した、セーリング、ウエイトリフティング等施設環境整備を推進。

基本施策の評価及び後期4年間に向けての重点実施施策

基本施策1

1. 乳幼児期の児童遊びの推進
▼外遊び・運動遊びの事業推進（△）
▼親子でスポーツレクリエーションへ参加できる機会の提供（○）
2. 子どものスポーツ推進 【重点施策】
▼スポーツレクリエーション活動の推進（○）
▼特に中学校女子の運動・スポーツ体験の機会の提供（○）
▼運動習慣の身につけていない子どもたちにキャンプ等の家族で参加できる活動の支援（×）
▼保健・食育等幅広い分野の学習機会の提供（×）

基本施策2

1. 運動・スポーツに親しむ機会の充実
▼運動・スポーツの機会の創出と誰でも楽しめる運動・スポーツのプログラムづくり（◎）
▼地域団体と連携し、市内施設を活用したイベント活動開催（○）
▼ウォーキング、ジョギング等身近にできる運動・スポーツ大会等の開催（◎）
2. 児童・生徒の体力向上に向けた取り組み【重点施策】
▼体力調査等を実施（○） ▼休み時間の外遊び支援（×）
▼保護者への運動・スポーツ意識を形成する情報発信（×）
▼指導員育成の研修、講習会開催及び学校へ講師派遣（○）
▼地域人材を活用したコーディネーター派遣制度支援（○）
▼運動嫌いな子どもたちに、地域でスポーツに取り組む環境づくりの推進（○）
▼スポーツがより好きになる環境づくり（×）

基本施策3

1. ジュニアスポーツの充実とジュニアアスリートの育成 【重点施策】
▼多様なスポーツ活動への参加機会の充実と競技人口の裾野を広げていく事業推進（○）
▼計画的な指導プログラムの推進と指導者の技能向上（○）
▼施設相互利用、複数校の連携協議等スポーツ環境の充実（○）
▼遠征・強化練習及び合宿費用等補助既存事業の拡充（○）
▼スポーツ医学・科学に基づいた指導マニュアル作成（×）

基本施策4

1. 総合型地域スポーツクラブの充実
▼総合型地域スポーツクラブの周知活動（△）
▼総合型地域スポーツクラブの設立に向けての助言・指導等の支援（×）
▼施設や指導者等不足を補う相互補完によるクラブの活性化支援（×）

基本施策5

1. 施設の充実【重点施策】
▼既存施設の維持更新（◎）
▼既存施設の再編、効率効果的な運営により身近な運動・スポーツの場を創出（○）
▼運動・スポーツ施設の利用に関する情報発信（△）
▼総合運動公園の基本構想策定への取り組み（◎）

3. 成人のスポーツ推進

- ▼健康づくりに関するセミナーや研修会等を実施（○）
- ▼成人の体力調査として体力テスト等を実施（○）
- ▼民間事業者と連携し、仕事帰りの夜間スポーツ教室や地域企業における教室や研修会の開催推進（×）

4. 高齢者のスポーツ推進

- ▼運動・スポーツ機会を提供するイベント事業の推進（◎）
- ▼スポーツを生きがいづくりにしている高齢者の支援（◎）
- ▼生活習慣病予防・改善、介護予防に寄与する事業の推進（×）
- ▼メディカルチェック等のプログラム開発事業の推進（×）

5. 障がい者のスポーツ推進

- ▼障がい者も交流できるスポーツレクリエーション事業推進（○）
- ▼障がい者の運動・スポーツを通じた社会参画の促進（○）
- ▼指導者の養成及び資格取得等、指導者育成支援事業の推進（×）

3. 運動・スポーツ情報の発信

- ▼運動・スポーツに関する幅広い情報を提供（○）
- ▼市広報番組等を活用して、健康・体力づくり、医療、福祉、食育等幅広い講座の放映（○）

4. プロスポーツ観戦や全国規模の大会観戦

- ▼プロスポーツ観戦を通じたスポーツに親しむ機会の創出（○）
- ▼全国規模の大会を誘致、開催（○）

2. トップアスリートの育成

- ▼トップアスリートの選手育成プログラムの作成（◎）
- ▼次世代アスリートを発掘・育成する人材の好循環を生み出す取り組みを推進（○）

3. えひめ国体等全国大会の開催・参加

- ▼既存施設の整備（◎） ▼出場選手等に奨励金の交付（◎）
- ▼指導者の誘致（◎）
- ▼障がい者大会へ出場する選手等を支援（◎）
- ▼普及啓発活動を推進し、スポーツを「する・見る・支える」人の裾野を広げる。（○）

2. スポーツまちづくり 【重点施策】

- ▼ウォーキング大会等、健康づくりや体力の向上につながるイベント等の開催を推進（◎）
- ▼多くの地域住民が運動・スポーツに関わる活動へ参加するきっかけづくりの推進（○）

2. えひめ国体及び全国大会開催に向けた施設環境整備

- ▼セーリング競技会場、ウエイトリフティング会場、サッカー会場、野球場の整備（◎）
- ▼えひめ国体の運営に関する計画策定（◎）

評価： ◎達成できた ○ある程度できた △ほとんどできていない ×できていない